

無償の Groupware の活用について

－4 年間の実践報告－

高知県の町立本川中学校 教頭 和田幸稔
abroad_webmaster@yahoo.co.jp

キーワード：Groupware, La!coodaWIZ, Linux, Redhat, FedoraCore, PHP, 学校事務, 校務分掌, 職朝

1. はじめに

学校裁量の増加に伴って教職員の仕事の量が増加している。総合的な学習のカリキュラム作成・人事評価・特色ある学校づくり・学校評価の「アンケートの作成・集計・分析」等、情報を共有して効率化を考えないと「生徒との触れ合い時間」の減少も心配される。効率良く文書作成することは必須の課題となっており、このような教育現場で Groupware を活用することは、学校事務（校務分掌）の効率化に有効なツールと言える。

グループウェアとは、「全庁的に情報の共有や流通を促進することにより、事務の質の高度化や処理の効率化を図るソフトウェアの総称。」

千葉市 IT 化アクションプランの概要 「<行政運営の効率化>」より
http://www.city.chiba.jp/joho/itactionplan/itplan_gaiyou.htm

上は千葉市の例だが、これはそのまま各学校に置き換えることができる。これらのことは、既に「5 学校の事務・業務の効率化」（中央教育審議会 平成 10 年答申）でも指摘されている。

また、職朝（職員朝会）を短時間で終らせ学級担任が早めに学級へ行き朝学活で担任が不在という状態を少なくすることは、1 日の学級リズムを作るためにも大切である。同時に、研修や家庭訪問で職朝時に不在の教職員がいる場合も考慮して、Groupware の機能の一つである「回覧板」を利用すると、空き時間にアクセスして確認することができ、口頭での一過性の連絡より周知徹底が高まる。

今回は約 4 年ほど前から活用している無償ソフトの“La!coodaWIZ”を紹介する。

2. 無償の Groupware “La!coodaWIZ” について

(1) 特徴

Linux 上で動くグループウェア「Sky Board」（Top Management Service, Inc. が開発）を元に改造・改良を施したものであり、下記のような特徴がある。

- Web ベースのため、新たにクライアントにソフトを入れる必要が無く、ブラウザさえあれば利用可能となっている。La!coodaWIZ は Apache, PHP, PostgreSQL や MySQL を利用し動作するよう開発されている。ソースが公開されているので自由にカスタマイズができる。
- 現在は、約 7 万円で動作環境が Windows 2000、Windows XP、Windows 2003 Server 用のインストールパックも販売されている。（香川大学のベンチャー企業 Space Tag 社）
- 学校向け Groupware の機能は、鹿児島県総合教育センターによれば、3 つある。その中の、「校務支援機能」を中心に利用するソフトになる。

(2) 導入経過

平成 15 年（高岡中学校にて 生徒数 455 普通学級 14 障害児学級 3 教職員数 35 名の中規模学校）

- 5 月 「平成 14 年度 紀要 第 26 集」にて“La!coodaWIZ”を知る。（土佐市教育研究所発行）
- 6 月 Redhat7.3 を OS とし導入し稼働を始める。2 学期から職員で利用を始める。

平成 16 年

- 年度当初から運用する。1 学期と 2 学期の終わりに学校自己評価を実施。
- 3 学期には、研究紀要と平成 17 年度の教育計画を各担当者からファイルにアップロードしてもらう。

平成 17 年（本川中 生徒数 25 名 教職員 13 名の小規模校 寮を完備、山村留學生が半数、留學生は全員県外）

- 1 学期に職員会へ提案。
- 夏休みに研修を実施し、2 学期から運用する。

3. 教職員への働きかけなど

- ・職員会で研修を実施し、資料を使って、アクセス方法・利用方法を指導する。
- ・職朝で口頭での連絡を極力減らし、積極的に Groupware の「回覧板」を活用する。
- ・重要な公文書の鑑文に、Groupware の回覧板に、いつ投稿したか分かるようにスタンプを押す。
- ・各学年用に PC を準備する。
- ・啓蒙活動として、Fax の送り状等に「ニッチ時間の工夫と Groupware を利用し生徒との触れ合いを多くしよう！」のキャッチコピーを使う。

4. ソフト・ハード関係

予算は、数年前の半額以下に減額されており、教科優先のため、Groupware の予算化は出来なかった。ハードも同様、新規購入は困難なので友人から譲り受けたノートPCをServer機とした。

- ソフト : 無償の Groupware ソフト “La!coodWIZ 1.32~1.4 Linux 版”
- OS : Redhat7.3 から FedoraCore5 まで
- プロバイダ : YahooBB (既存を利用)
- ドメイン : 無料のダイナミック DNS (自動更新は、DiCE を使う)

5. Groupware 導入の結果 (学校自己評価)

Groupware を導入して改善できる点をまとめると、

- (1) 学校事務 (校務分掌) の情報共有化
- (2) 公文書の周知徹底
- (3) 職朝の効率化
- (4) スケジュールの確認

等がある。

高岡中学校の自己評価は下記の通りである。学校自己評価の項目に Groupware 活用について設問し評価した。

質問項目	A そう思う	B どちらかという、 そう思う、	C どちらかという、 そう思わない	D そう思わない
質問 1	4 1 %	4 9 %	1 0 %	0 %
質問 2	5 6 %	3 4 %	1 0 %	0 %

質問項目

質問 1 「Groupware は、職朝の効率化に役立っていますか」

質問 2 「校務分掌のデータ確保 (情報共有) に Groupware は役立っていますか」

質問項目の 1・2 とも Groupware 利用の好意的な評価が 90% (A と B の合計) となり、その有効性が確認された。(平成 16 年度 高知県土佐市立高岡中学校 研究紀要 p.60 より)

6. 課題等

- (1) 予算があれば、アウトソーシングで専門業者に発注・メンテナンスができる。支出を抑えた結果、その分教師が補うこととなり、OS・Groupware のインストール、データのバックアップというサーバの構築・保守を教師個人で行なう必要がある。管理職としてこれらの維持管理を行なえるというノウハウの習得が課題として残った。
- (2) 同時に、ネット検索すると各都道府県の教育センターで Windows 系で使える Groupware 「こあっと」や xoops・NetCommons・Linux 等のインストールを研修として実施している所もある。残念ながら本県教育センターでは、最近この様な研修を見かけない。上述の様な習得は、個人では困難をとまなうので、是非、教育センター等で研修を実施して欲しいものである。

なお、紙面の関係上具体的なインストールの方法・バックアップ等は省略しているが、「Abroad・海外で教える」のサイトからリンクを張っているので参考にして頂きたい。

参考サイト

1. 「こあっと」
<http://www.kinosita.itabashi.tokyo.jp/ishide/coatweb/>
2. 株式会社システム・コンサルタンツ (“La!coodaWIZ” の配布会社)
<http://wiz.syscon.co.jp/>
3. SpaceTag 社 (“La!coodaWIZ” の Windows 版 “ST Server” の販売会社)
<http://www.spacetag.jp/>
4. 情報教育第 96 号「校務の効率化を図るグループウェアの活用」(平成 16 年発行 鹿児島県総合教育センター)
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/er/edu-info/shido/h16/s01469.pdf>
5. 校内 LAN 活用研修講座 (平成 17 年度 茨城県教育研修センター)
http://www.center.ibk.ed.jp/jigyo/kenshu/senmon/kyousyoku/041/h17_41.htm
6. Active Server Page (平成 16 年度テキスト) (福島県教育センター)
<http://www.center.fks.ed.jp/18joho/16/text/asp.pdf>
7. 「Abroad・海外で教える」教員の海外派遣、特に「日本人学校派遣」に関する情報サイト
<http://www.abroad.cside.com/>